

第 341 回講習会 「CAE の品質保証 ～CAE はどこまで実験に近づけるか？」

申込締切 平成 22 年 5 月 14 日(金)

開催期日 平成 22 年 5 月 21 日(金)

主催：精密工学会

企画：事業部企画第 1 グループ

協賛（予定）：大田区産業振興協会/SME 東京支部/TAMA 産業活性化協会/TAMA-TL0/応用物理学会/品川区ものづくり・経営支援課/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

近年のコンピュータ性能の飛躍的向上、シミュレーション技術の発達に伴い、設計プロセスの中に CAE が広く普及しました。自動車業界では、実車の衝突実験を CAE に置き換えたり、容易に実験できない環境での挙動を CAE で予測したり、さらには認証取得のためのエビデンスを CAE で実施したり、CAE は実験を代替し、さらにコスト低減にも大きく寄与するツールとして認識されております。このように CAE は、設計の評価方法としての地位を確立しておりますが、その品質保証については論じる場はあまりなく、技術者の関心が高いところと存じます。この講習会では、CAE の第一人者を講師としてお迎えし、CAE の品質保証について説明して頂きます。是非ご参加いただき、貴社のご発展にお役立てください。企画グループ一同、心よりお待ちしております。

日 時：平成 22 年 5 月 21 日（金）、10 時 10 分～17 時 00 分

会場 中央大学後楽園キャンパス 3号館 3907号室（〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27）

- ・ 後楽園駅（東京メトロ丸の内線、南北線）下車徒歩 5 分
- ・ 春日駅（都営地下鉄大江戸線、三田線）下車徒歩 7 分
- ・ 水道橋駅（JR総武線）下車徒歩 10 分

会場URL：http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.html

司 会：野中 紀彦(日立製作所)，江口 和徳(エムエスシーソフトウェア株式会社)
次 第

時 間	題 目	内 容	講 師
10:05～10:10	主催者挨拶		
10:10～11:10	【基調講演】 今、なぜ計算の品質なのか	FEM 等のシミュレーションのツールは当初、解析の専門家によって使われてきたが、最近では設計に必須のツールとして一般の設計者がブラックボックスとして使うようになってきた。このような状況の下、ものづくり工程において採用されている計算の品質保証の重要性について問題提起を行う。	横浜国立大学 白鳥正樹
11:10～12:10	精度保証付き数値計算の急速な発展と豊かな応用可能性	答えが数学的に正しいことが保証された数値計算法としての精度保証付き数値計算が、手軽に高速に実行出来る様になった。従来のツールの工学的応用可能性について紹介する。	早稲田大学理工学術院 基幹理工学部応用数理学科 大石進一
12:10～13:40	昼食		
13:40～14:40	解析業務の品質マネジメント	解析業務への ISO9001 品質マネジメントシステム (Quality Management System) の実装の事例と、実装に関する解説資料として、英国 NAFEMS で開発された幾つかのマニュアルの概略を紹介する。	東芝インフォメーションシステムズ 株式会社エンジニアリングシステム・サービスオフィス 吉田有一郎
14:40～14:50	休憩		
14:50～15:50	疲労耐久の CAE の品質向上	自動車の疲労耐久の課題に ASME(アメリカ機械学会)規格を取り入れた保証の検討や、ロバスト性の解析、品質のよい開発のための開発の上流工程での解析など、経験談を中心に紹介する。	デジタルプロセス株式会社 シミュレーションエンジニアリング部 鈴木信久
15:50～16:00	休憩		
16:00～17:00	CAE ソフト開発における品質保証の事例紹介	最新の「粒子法による流体解析ソフト」の開発における解析事例と実験を紹介し、どのようにソフトが開発され、その品質保証の活動事例を紹介する。本報告では、この開発過程における数値モデル作成と基礎解析事例を紹介しつつ、それに対するいくつかの評価実験と評価内容を紹介する。	株式会社富士テクニカルサーチ 開発部部长 原田隆

定 員：60 名（先着順で定員になり次第締切ります）

参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）20,000 円、非会員 30,000 円（テキスト代含む）、学生会員 無料（ただし、資料ご入用の場合は、4,000 円をご負担ください）、学生非会員 6,000 円（テキスト代含む）

資 料：資料のみ、または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合、1 冊 4,000 円

申込締切：平成 21 年 5 月 14 日(金)

申込先：精密工学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9、九段誠和ビル 2F、電話 03-5226-5191、Fax 03-5226-5192、<http://www.jspe.or.jp/>からも申込みできます。